Rで学ぶ 傾向スコア解析入門

@yokkuns: 里 洋平

2011.09.24 第17回R勉強会@東京(#TokyoR)

AGENDA

- 自己紹介
- 傾向スコア解析
 - 実験出来るデータ
 - ・実験出来ないデータ
 - 共変量調整
 - 傾向スコア推定
 - 傾向スコアを用いた調整
- Rによる実行
- 最後に

AGENDA

- 自己紹介
- 傾向スコア解析
 - ・実験出来るデータ
 - ・実験出来ないデータ
 - 共変量調整
 - 傾向スコア推定
 - 傾向スコアを用いた調整
- Rによる実行
- 最後に

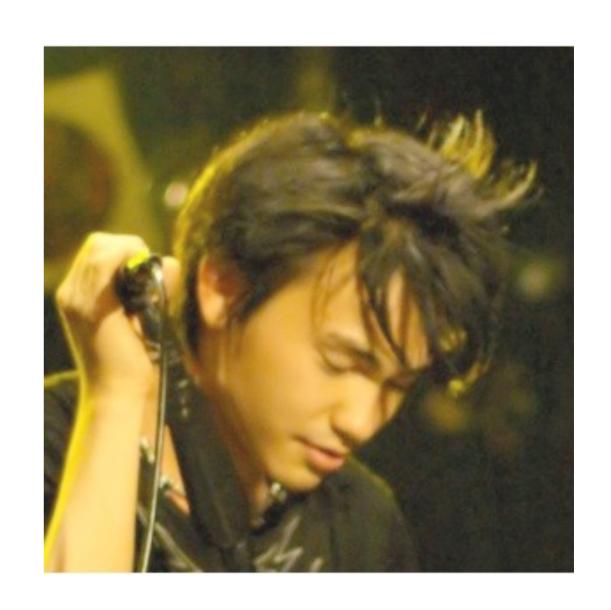
自己紹介

• ID: yokkuns

• 名前:里洋平

データマイニングエンジニア

統計解析 パターン認識 機械学習 データマイニング NLP 金融工学 などを勉強中



Tokyo.Rの主催者





ホーム

ご参加ありがとうございます!

Rパッケージ本執筆





Rパッケージガイドブック [単行本]

図田 昌史 ▼ (著), 荒木 孝治 (その他), 伊藤 康広 (その他), 里 洋平 (その他), 高柳 慎一 (その他), 棚瀬 貴紀 (その他), 谷村 晋 (その他), 中谷 朋昭 (その他), 蓮見 亮 (その他), 林 真広 (その他), 樋口 千洋 (その他), 福島 真太朗 (その他), 独山 文彦 (その他), 横山 貴央 (その他), akira (その他), mickey24 (その他) この商品の最初のレビューを書き込んでください。

価格: ¥ 3,990 通常配送無料 詳細

通常2~4週間以内に発送します。 <u>在庫状況</u>について この商品は、<u>Amazon.co.jp</u> が販売、発送します。 ギフトラッピングを利 用できます。

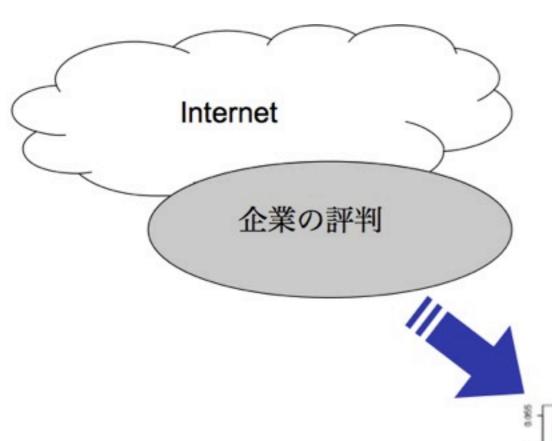
中古品1点¥ 6,133より

動画レコメンド

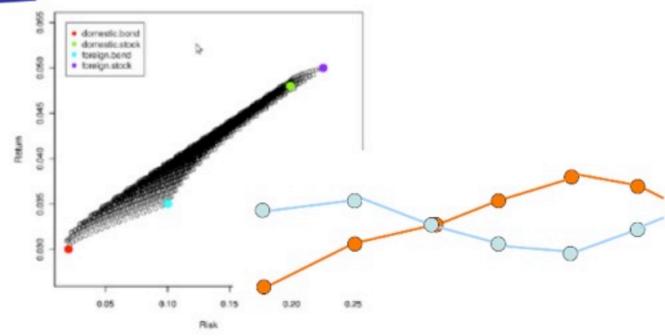


閲覧されてる動画に関連する おすすめ動画を表示

テキストマイニング+金融工学



Web上にある評判情報から 市場予測!



AGENDA

- 自己紹介
- 傾向スコア解析
 - 実験出来るデータ
 - ・実験出来ないデータ
 - 共変量調整
 - 傾向スコア推定
 - 傾向スコアを用いた調整
- Rによる実行
- 最後に

実験出来ないデータの因果関係を解析する

3歳神話:子供は3歳までは母親の元で育つ方が社会性・知能発達が向上する

1~3歳まで母親の側



1~3歳に保育園

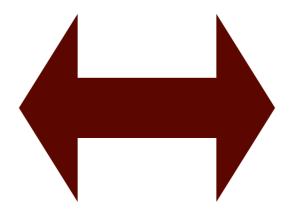
実験出来ないデータの因果関係を解析する

3歳神話:子供は3歳までは母親の元で育つ方が社会性・知能発達が向上する

1~3歳まで母親の側

- ◇親の学歴
- ◇親の収入
- ◇親の職業
- ◇親の教育意欲

8歳時点の 社会性得点・知能検査 を比較

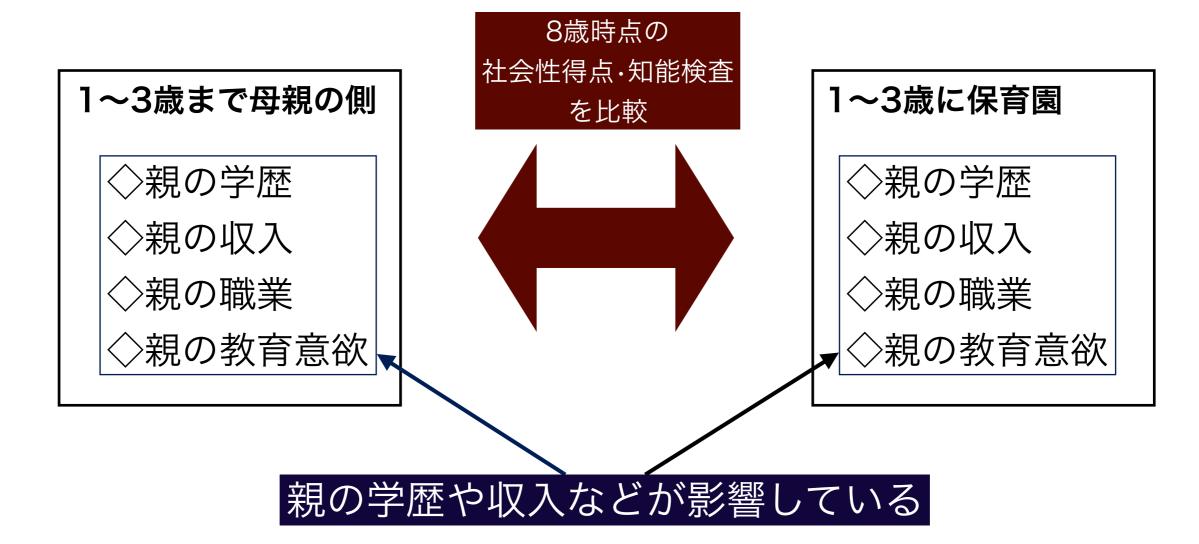


1~3歳に保育園

- ◇親の学歴
- ◇親の収入
- ◇親の職業
- ◇親の教育意欲

実験出来ないデータの因果関係を解析する

3歳神話:子供は3歳までは母親の元で育つ方が社会性・知能発達が向上する

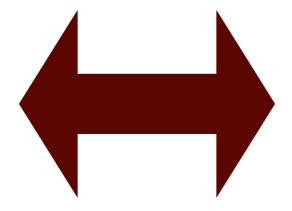


実験出来ないデータの因果関係を解析する

テレビCMの効果測定

TVCMを見たグループ

当該商品の 購買量の比較



TVCMを見てないグループ

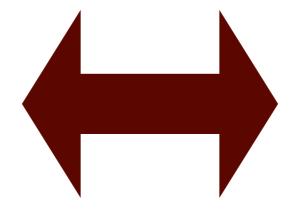
実験出来ないデータの因果関係を解析する

テレビCMの効果測定

TVCMを見たグループ

- ◇購買意欲
- ◇ライフスタイル
- ◇年齢層
- ◇所得

当該商品の 購買量の比較

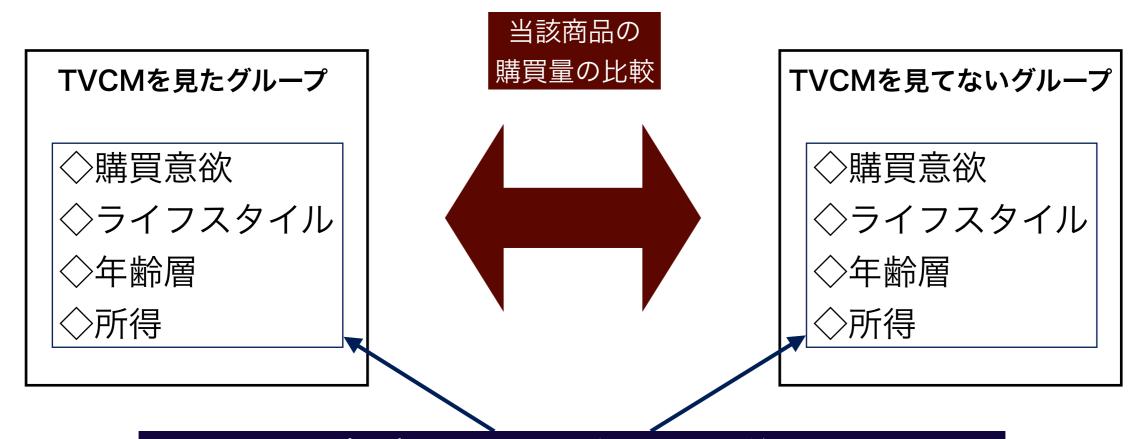


TVCMを見てないグループ

- ◇購買意欲
- ◇ライフスタイル
- ◇年齢層
- ◇所得

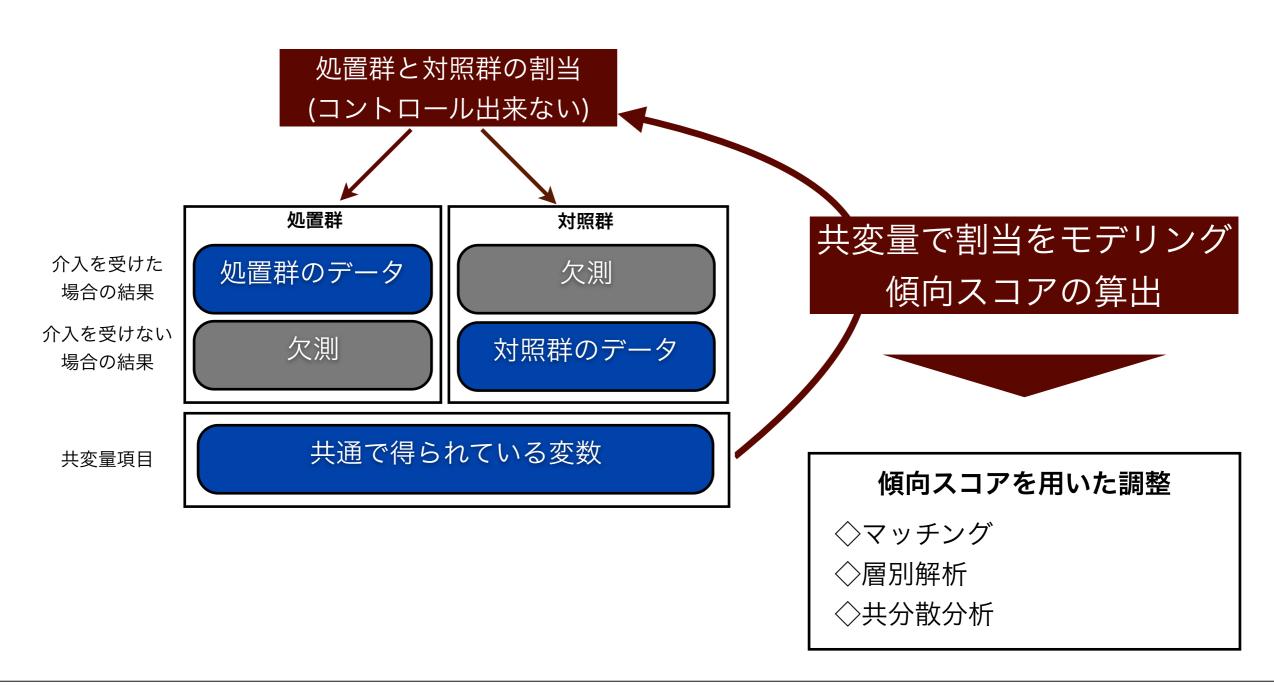
実験出来ないデータの因果関係を解析する

テレビCMの効果測定

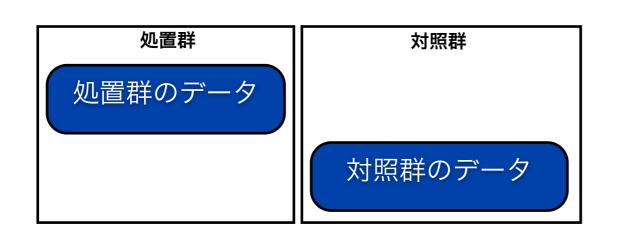


CMの視聴はライフスタイルに影響される 企業ターゲット層に合わせた時間にCMを出稿している

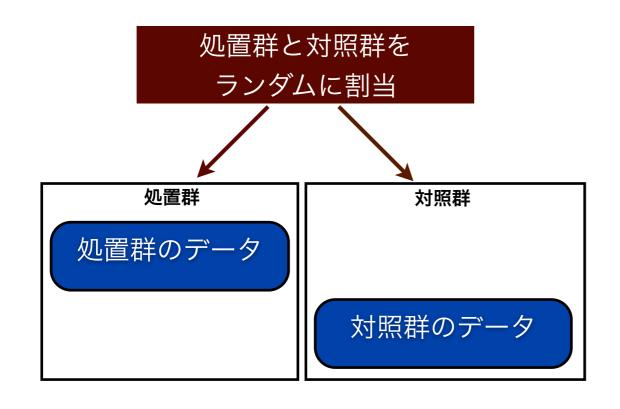
実験出来ないデータの因果関係を解析する



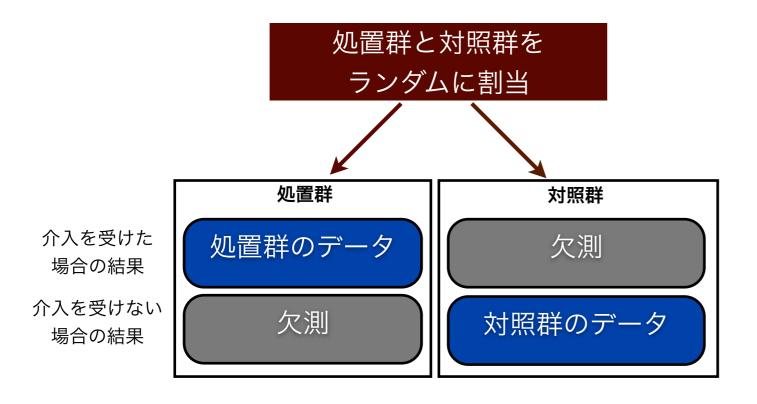
因果効果は単純な処置群と対照群の差になる



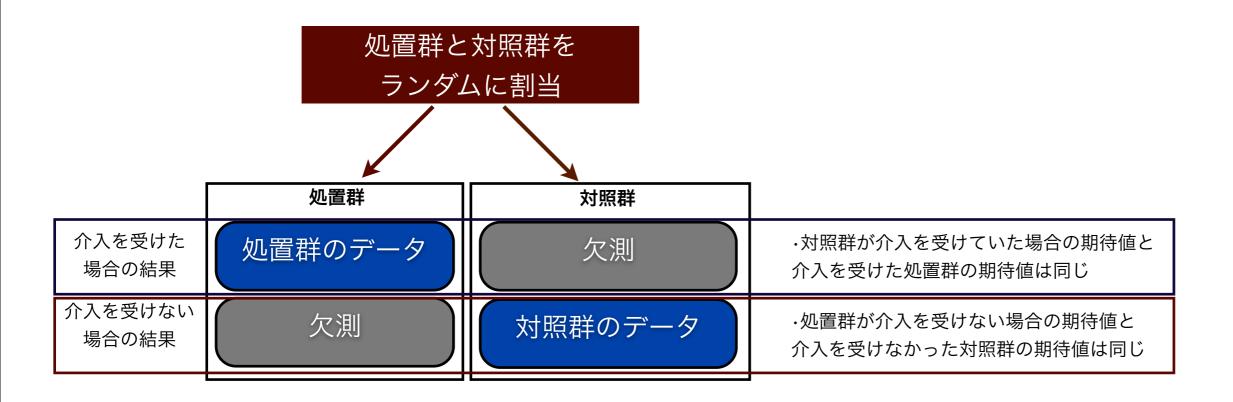
因果効果は単純な処置群と対照群の差になる



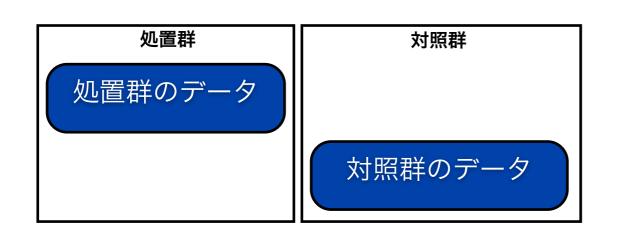
因果効果は単純な処置群と対照群の差になる



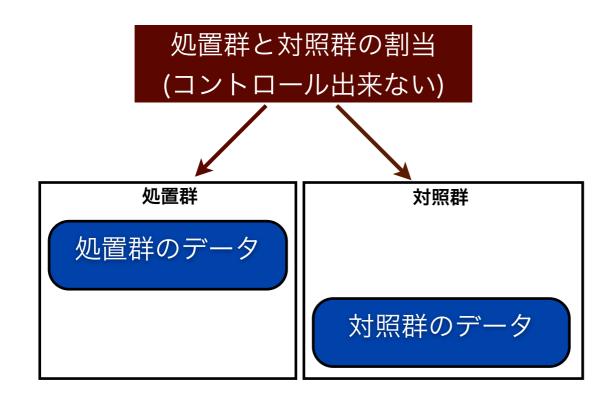
因果効果は単純な処置群と対照群の差になる



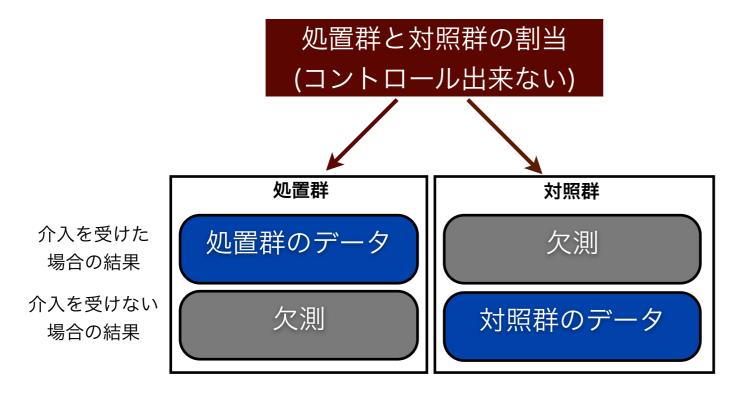
割当によって処置群と対照群に差が生じるため 単純に比較することが出来ない



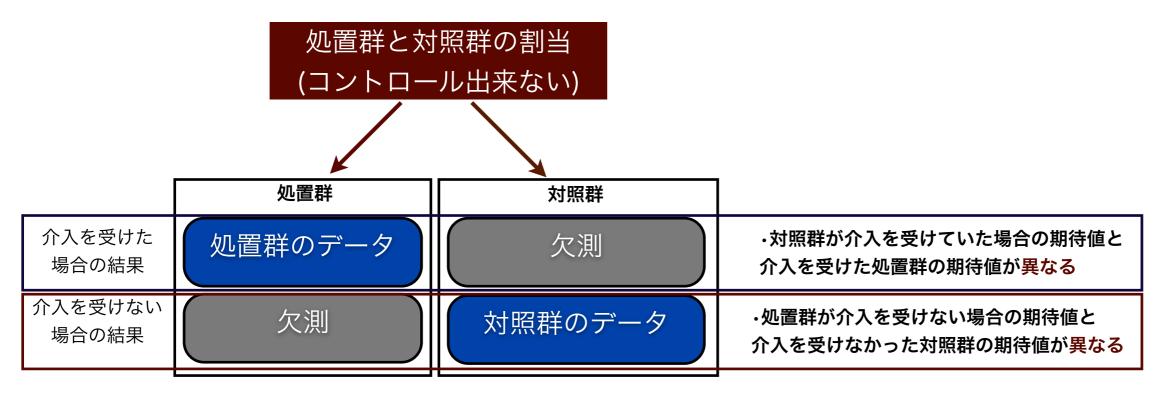
割当によって処置群と対照群に差が生じるため 単純に比較することが出来ない



割当によって処置群と対照群に差が生じるため 単純に比較することが出来ない

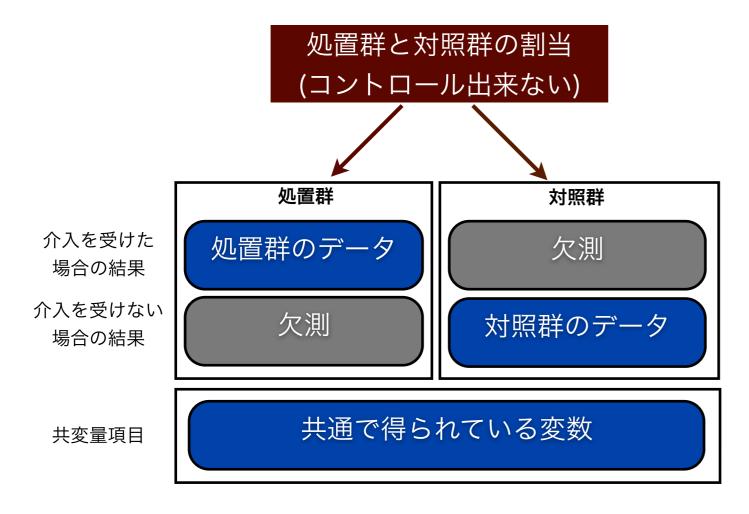


割当によって処置群と対照群に差が生じるため 単純に比較することが出来ない



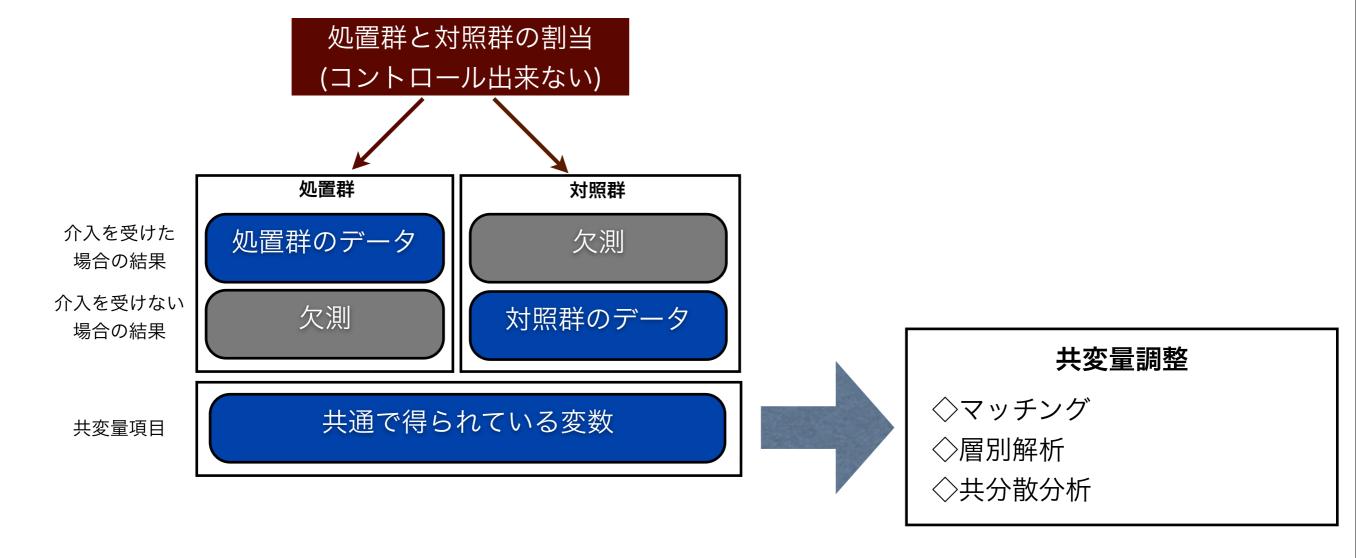
共変量調整

割当や結果変数に影響している共通の変数を用いて 因果効果以外の効果を除去する



共変量調整

割当や結果変数に影響している共通の変数を用いて 因果効果以外の効果を除去する

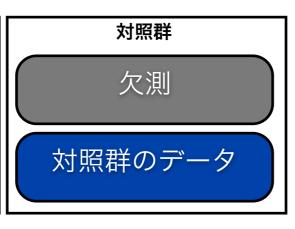


欠測モデル

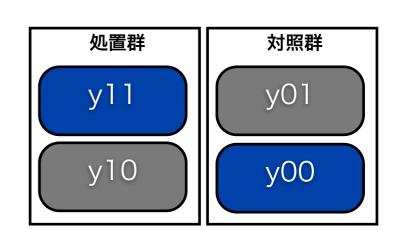
欠測している潜在的な結果変数を考える

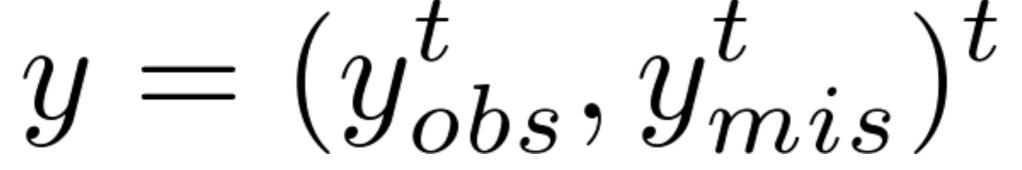
介入を受けた 場合の結果 介入を受けない 場合の結果











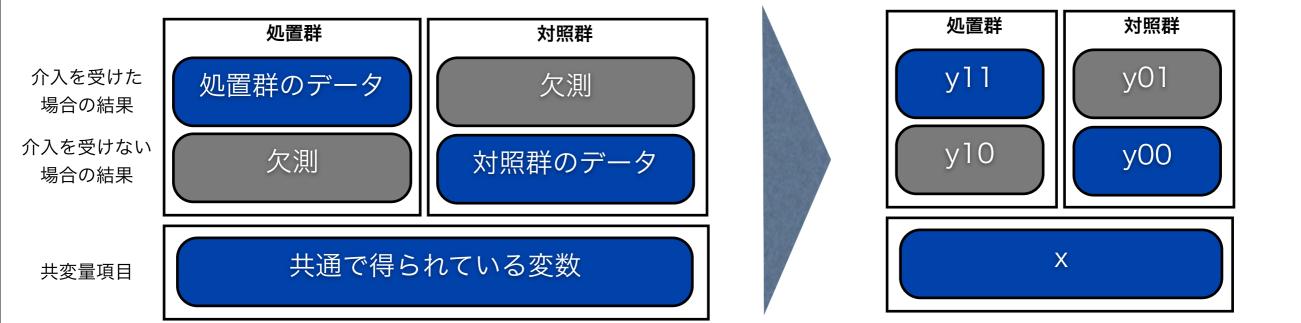
完全データの ベクトル

観測されている 欠測している

データのベクトル データのベクトル

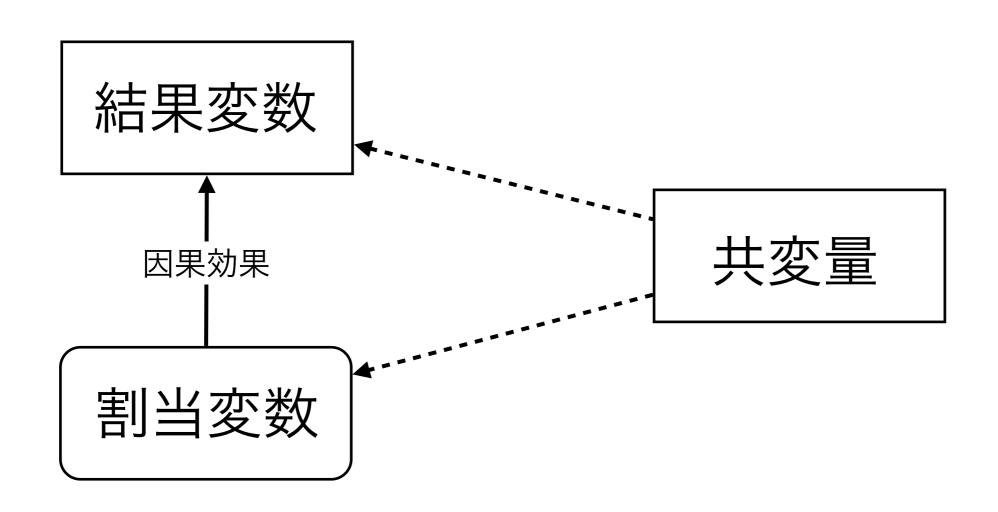
欠測モデル

欠測している潜在的な結果変数を考える



共変量の影響

割当や結果変数に影響している共通の変数



共変量調整:マッチング

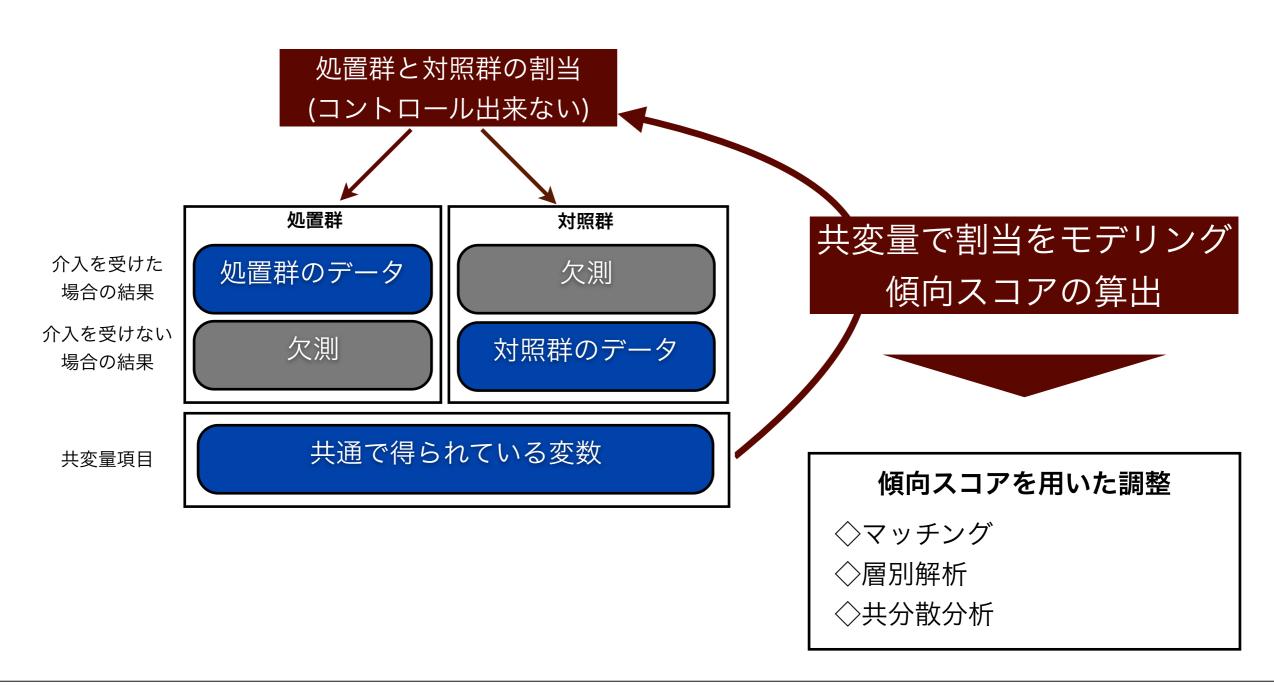
共変量調整:層別解析

共変量調整:回帰モデル

共変量調整の問題点

- マッチング・層別解析での問題
 - 共変量に連続変数があると完全一致のペア は作れない
 - 次元問題
 - サポート問題
- 回帰モデルでの問題点
 - 結果変数と共変量のモデリングが必要
 - 直接因果効果の推定値は得られない

実験出来ないデータの因果関係を解析する



傾向スコアとは

傾向スコアの推定

傾向スコアを用いた調整

- ・マッチング
- 層別解析
- 共分散分析

AGENDA

- 自己紹介
- 傾向スコア解析
 - ・実験出来るデータ
 - ・実験出来ないデータ
 - 共変量調整
 - 傾向スコア推定
 - 傾向スコアを用いた調整
- Rによる実行
- 最後に

Rによる実行

Rでマッチング実行

```
install.packages("Matching")
    library(Matching)
3
    ##
   ## Matching
   ##
    data(lalonde)
    Y78 <- lalonde$re78
10
    Tre <- lalonde$treat
11
12
    logi <- glm(treat~., data=lalonde[,-9],family=binomial)</pre>
13
    ## default
14
15
    summary(Match(Y=Y78, Tr=Tre,X=logi$fitted))
16
17
    ##
    summary(Match(Y=Y78, Tr=Tre,X=logi$fitted,M=2))
18
19
20
    ## caliper matching
21
    summary(Match(Y=Y78, Tr=Tre,X=logi$fitted,caliper=T))
```

Rでカーネルマッチング実行

```
23
     ##
    ## kernel matching
24
25
    1111
26
    kmy <- lalonde$re74
27
     ivec1 <- lalonde$treat
28
    estp <- logi$fitted
29
    km <- cbind(kmy,estp, ivec1)</pre>
30
    km1 <- subset(km, ivec1==1)</pre>
31
32
    km2 <- subset(km, ivec1==0)</pre>
    km1x \leftarrow km1[,2]
33
34
    km1y \leftarrow km1[,1]
35
    km2x <- km2[,2]
     km2y \le km2[,1]
36
     bw1 \leftarrow 1.06*(nrow(km1))^(-0.2) * sd(km1x)
37
     bw2 \leftarrow 1.06*(nrow(km2))^{(-0.2)} * sd(km2x)
38
     esty1 <- ksmooth(x=km1x,y=km1y,kernel="normal",
39
40
                        bandwidth=bw1,x.points=km2x)
     esty0 <- ksmooth(x=km2x,y=km2y,kernel="normal",
41
                       bandwidth=bw2,x.points=km1x)
42
43
     head(esty1$y)
44
45
46
     head(esty0$y)
47
```

AGENDA

- 自己紹介
- ・傾向スコア解析
 - ・実験出来るデータ
 - ・実験出来ないデータ
 - 共変量調整
 - ・傾向スコア推定
 - 傾向スコアを用いた調整
- Rによる実行
- 最後に

次回以降の

発表者・LTを募集しています!

ご清聴ありがとうございました

AGENDA

- 自己紹介
- ・傾向スコア解析
 - ・実験出来るデータ
 - ・実験出来ないデータ
 - 共変量調整
 - ・傾向スコア推定
 - 傾向スコアを用いた調整
- Rによる実行
- 最後に

付録

参考文献